

Chiba Rosai News

千葉ろうさいニュース

Vol. 4

平成26年10月15日



整形外科医師

目次

- | | | |
|---|-------------------------|--------------------------------------|
| ② 当院の整形外科
整形外科部長 山縣 正庸
第二整形外科部長 清水 耕
第三整形外科部長 池田 義和
第四整形外科部長 中島 文毅
整形外科副部長 橋本 光宏
整形外科医師 守屋 拓朗 | ④
⑤ 新しい外来棟がオープンしました！ | ⑦ 連携登録医のご紹介
医療法人社団ゆうな会
山越 整形外科 |
| ③ | ⑥ 外来棟案内図 | ⑧ 当院の理念
リハビリ美術館 |

当院の整形外科



整形外科部長
副院長

やまがた まさひろ
山縣正庸

チーム整形外科

整形外科は運動器の外科であり、上肢の手外科学会から下肢の足の外科学会まで各関節に学会があり、また関節リウマチ、スポーツ整形外科、骨粗鬆症など、部位によらない学会も多数あります。それぞれに専門的な分野で、全国の整形外科医が日々、研究に診療に切磋琢磨励んでいるところです。当、千葉ろうさい病院では主に手術治療が主体となり、①外傷外科としての骨折治療、②高齢者の増加で、近年急増している変形性関節症に対する人工関節置換術、③同様に高齢者の増加、手術の低侵襲化が進み増加しつつある脊椎外科手術、④勤労者や若者に人気のスポーツの普及とともにやはり増加しつつある、スポーツ整形外科に特徴があります。大まかに分かれた各グループですが、それぞれに国内最高レベルの医療に取り組んでいます。私たちは最高レベルの医療を提供するために日々、まさに地道な努力が必要と考えています。

毎朝の画像カンファレンス、毎週の手術カンファレンス、抄読会を行い、日々進歩する最新の医療を取り入れて臨床に実践しています。最近の高度な手術は個人では完遂できず、必ず複数の医師が助け合って手術を行うようになってきました。当然、手術前にはその術式について綿密な計画が立てられ、患者さんに最善の、そして、侵襲も少ない方法が選択されます。手術は一度きりで最大の効果を示さねばなりません。一つの手術のために多く準備が必要です。どんな些細なことでも準備を厭わないように整形外科では医師のみならずスタッフが一丸となって働いています。日々大変な努力が必要ですが、「ありがとう」の一言で労苦が報われます。整形外科はスタッフが一丸となって働いています。



第二整形外科部長
人工関節センター長

しみず けんじ
清水 耕

人工関節手術

当院に就任した平成9年当初は脊椎、骨折手術等も行っていましたが、その後専門分野の人工関節手術や関節リウマチ治療に専念できるようになりました。それに伴い手術件数は増加の一途をたどり、就任前には年間の人工膝関節が2件、人工股関節1件であったのに対し、ここ1年の手術件数は人工膝関節136件、人工股関節101件、計237件に増えています。

当院の人工関節手術の特色は、1. 適切な人工関節の選択、2. 迅速で繊細な手術手技と安定した成績、3. 安全重視の取り組みの3つがあげられます。

人工股関節は世界的に実績がある機種を選択しており、その結果過去5年間の脱臼率、感染率共に0と良好です。一方人工膝関節は日本製の機種を導入し、良好な屈曲角度が得られています。

手術法に関しては、可及的に侵襲の少ない迅速な手術を心掛け、安定した成績が得られています。また、人工関節は比較的高齢者に多い手術ですが、当院は19の診療科を有して手術が安全に行える環境が整っており、術後感染、血栓塞栓の予防等に関しても、看護師、リハビリ科、検査科等と共同で努力しています。また人工関節関連の研究にも積極的に取り組んでおり、研究結果は国内外の学会で発表し高い評価を受けています。

高齢化の進行に伴い、今後ますます人工関節手術の必要性が高まると予想されますので、更に高度で良質な治療を提供できるよう努力してゆく所存です。



第三整形外科部長

いけだ よしかず
池田義和

頸椎疾患の手術

高齢化社会や医療技術の進歩など、目まぐるしく環境が変化する中、私が一貫して日々の診療で心がけている事は、患者様の話を伺い、お体の具合を見て、触れて、診断に至り、皆様と相談しながら個々に最適な治療の方法を選択出来るよう、きめ細やかな医療の提供を行う事です。近年では、内視鏡手術を始めとして低侵襲手術にも取り組んでおり、海外研修に参加して最新の手術手技の習得も積極的に行っています。そして、頸椎疾患の手術経験が400例を数え、脊椎疾患の中でもその割合が多く、前方・後方どちらの方法にも対応しているのが私の特徴です。

時折「背骨の手術をすると手足が動かなくなるのでは？」と心配する方もいらっしゃいますが、漠然とした不安を理由に治療のタイミングを逃すと、病状が進行してしまう可能性があります。

皆様に良質な医療を提供し、適切な時期に安心して治療を受けて頂けるように努めて参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

脊椎脊髄疾患の治療

今年の10月で当院整形外科に勤務して10年になります。手術が必要な脊椎脊髄（せぼね）の疾患を中心に担当し、最近高齢化の進行とともに増加している骨粗鬆症による疾患にも取り組んでいます。骨粗鬆症については骨・関節を担当する整形外科としての視点を大切に考え、新しい治療薬も導入しています。当院での脊椎脊髄疾患の診療の特徴は、脊椎手術を担当する外科医が共通した方針、手技で診療にあたること、また手術後に早期に手術前の生活が取り戻せることを心掛けて、良好な結果を得ていることと考えます。

しかしながら、手術が必要な脊椎脊髄の疾患の多くは、手足のしびれ、痛みや神経麻痺を伴い、病状の程度により回復に差があり、同様な手術を行ってもその効果には個人差があります。できる限り、この手術の効果が手術前にわかれば、治療の満足度が改善し、手術を選択する決断に勇気を与えることができるのではないかと考え、日々研鑽に努めています。



第四整形外科部長

なかじま ふみたけ

中島文毅

大切に思う四つのこと

脊椎外科チームの一員として主に脊椎疾患を中心に診療させていただいています。私が日々の診療を行う上で大切に思っている四つの点について述べたいと思います。

- 1) 正確な診断および治療方針の決定。レントゲン、MRIなどの検査だけでなく、患者さんに直接触れて詳細に診察し、評価することが大切となります。その上で手術が最適な治療であれば手術をお勧めしています。
- 2) 患者さんとの信頼関係。十分な説明と同意の元に治療を行います。
- 3) 安全な手術手技。綿密に術前計画を練り、脊椎固定術においては最新鋭の神経モニタリングやナビゲーション・システムなども使用し、より安全な手術を目指します。
- 4) 患者さんにとって負担の少ない手術法。当科では腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下手術など、皮膚や筋肉をなるべく傷つけず、出血も少ない手術を心がけています。術後の痛みが少なく、術後リハビリテーションが行いやすいという利点があるからです。

脊椎疾患でお困りの患者さんが千葉ろうさい病院でより良い医療を受けられるようにこれからも日々努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



整形外科副部長

はしもと みつひろ

橋本光宏

スポーツ外来の紹介

本年4月よりスポーツ外来（月曜日・火曜日午前）を設置しています。

私を含め、当院の医師は小学生から国代表レベルまで幅広いスポーツ活動・大会へのサポートの経験があり、その経験をもとにスポーツ外来では、下記4点を念頭に置いた診療を行っております。

1. 外傷・障害の迅速・正確な診断
2. 関節鏡を用いるなど可能な限り低侵襲な手術
3. スポーツ復帰に向けた最善の治療法の提供
4. スポーツの現場での安全対策・救急対応およびその後の治療

医師による評価に加え、レントゲン・CT・MRI・超音波エコーを用いることで、より迅速かつ正確な診断を心掛けております。高気圧酸素療法を用いたスポーツ外傷（肉離れ・靭帯損傷など）への対応も可能であり、最先端のスポーツ医学を千葉・市原・長生茂原地域においても可能な限り提供できるよう体制を整えております。

千葉市・市原市には子供から実業団チーム・プロスポーツクラブまで幅広いスポーツ文化が根付いております。スポーツに関わる外傷・障害でお悩みの方はぜひご相談ください。

また、団体・チーム合宿受け入れ施設で後方支援を必要とされる施設の方もぜひご相談ください。



整形外科医師

もりや たくろう

守屋拓朗

新しい外来棟がオープン

より便利に、より優しく、千葉ろうさい病院の新



開放的で明るいエントランス

問診・検査予約センターの新設



紹介状を持ってこられた患者さんの来院目的や状態などを確認し、診察に必要な情報を予め入力します。診察終了後には、検査日程を組み、検査や手術前の注意事項の説明を看護師が行います。

8床から18床に拡大しました。ベッドやリクライニングチェアなど体調に合わせてゆったりと治療に臨めるよう準備いたします。抗がん剤治療に対する心配など、専門のスタッフが副作用管理や相談に応じます。

通院治療



ンしました!

しい歴史がはじまります。



小児科外来待合

小児科受診のお子様と保護者の方が、安心、リラックスして診察や健診、予防接種に臨めるよう小児科らしい空間を設けました。



待ち時間が一目でわかる待合

待合い表示システムを新設しました。患者さんのプライバシー保護のため、受付票の「呼出し番号」でお呼びします。診察の進行状況など、目安が分かりやすくなりました。

プライバシーに配慮した診察室

落ち着いた空間で、医師の診察や説明を受けられます。全診療科で電子カルテを運用しています。



療室を18床に拡大



外来診療案内カウンターの新設



1階と2階フロアの診療科への案内をいたします。診療科の進行状況などを把握し、診察室や院内の案内をいたします。

外来棟案内図

検査を受ける方、リハビリ訓練の方、病棟へご用の方は点線に沿ってお進みください。
放射線受付、内視鏡受付は診療棟1階です。
採血・採尿・生理検査受付、
リハビリテーション受付は診療棟2階です。
病棟は診療棟4階から7階です。



外来棟3階



外来棟2階

連携登録医のご紹介



山越整形外科

院長 やまこし 山越 ひろあき 弘明先生

この度は、貴院広報誌に投稿の機会をいただき心より感謝いたします。貴院とは、私が小学校3年生の時に、交通事故による下腿骨骨折で約2カ月入院したことが最初の縁です。当時の担当医が若い時の高木学治先生（後の整形外科部長）であり、こども心にオーラを感じる先生であったと記憶しています。

その後、私自身も整形外科医となり生まれ育った国分寺台に開院したのも何かの縁かもしれません。開院以来、整形外科の先生だけではなく、多くの科の先生に助けられて今日までできています。開業しますと一人で判断し決断しなければいけないことが多くなります。患者さんを紹介しますと、どの先生方も丁寧な返信をいただけています。自分の判断と異なることもあり、自身を見直す貴重な機会となっています。この場をかりて、厚くお礼申し上げます。

身をもって実感するところですが、過去、現在はもとより、未来においても貴院は市原市民にとってなくてはならない病院です。益々のご発展を心より祈っています。



医療法人社団ゆうな会 山越整形外科 診療案内

〒290-0022 千葉県市原市西広4丁目2-2

電話番号 **0436-25-1559**

診療科目 整形外科、リハビリテーション科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日	祝日
午前	9:00~12:00	9:00~12:00	×	9:00~12:00	9:00~12:00	8:30~12:30	×	×
午後	15:00~18:00	15:00~18:00	×	15:00~18:00	×	×	×	×

水曜日・金曜日午後・土曜日午後・祝祭日は休診

千葉労災病院 理念

基本理念

私たちは、地域の人々・勤労者から最も信頼される病院をつくります。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 安全で質の高い医療を提供します。
3. 地域の基幹病院として医療連携に努めます。
4. 急性期医療・予防医療を担います。
5. 良質な医療人の育成をはかります。
6. 健全経営を行い、明るく向上心に満ちた職場をつくります。



リハビリ美術館

当院には患者さんによる作品を集めた美術館があります

ちぎり絵「滝」
作/鶴岡 初恵さん

編集後記

8月末に外来棟がリニューアルオープンをしました。患者さんには、「きれいになったね」「前より明るくなっていいね」などとても好評なご意見を頂いています。また、このたび外来にも、患者さんの個人情報を守る案内システムを取り入れています。患者さんには快適で安全な環境で医療が受けられるように、職員全員で取り組んでいます。外は、いつの間にか秋の気配が漂い、涼しい日が続いていますので、季節の変わり目に体調を崩さぬようお気を付けください。

広報委員会 成田美弥子（看護部）